



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)

コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西岡 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々木 悟

TEL 03-5332-5374

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	1,644	△22.9	△18	—	△6	—	△3	—
27年12月期第3四半期	2,132	27.7	40	△65.9	126	8.8	40	△60.7

(注)包括利益 28年12月期第3四半期 △3百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 40百万円 (△60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年12月期第3四半期	△0.31	—
27年12月期第3四半期	4.06	3.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,087	1,870	80.1
27年12月期	2,053	1,779	81.6

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 1,671百万円 27年12月期 1,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,862	5.9	104	124.6	113	△13.4	90	128.6	9.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	10,011,300 株	27年12月期	10,011,300 株
28年12月期3Q	200 株	27年12月期	200 株
28年12月期3Q	10,011,100 株	27年12月期3Q	10,011,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に關しましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、このところ弱さも見られるものの、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外経済で弱さがみられており、我が国の景気が下押しされるリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、当第3四半期連結累計期間において供給戸数が前年同期比16.8%減、契約率においても7.8ポイント減（いずれも民間調査機関調べ）と非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,644百万円（前年同期比22.9%減）、営業損失18百万円（前年同四半期は営業利益40百万円）、経常損失6百万円（前年同四半期は経常利益126百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移し、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力いたしましたが、前年同期比において物件獲得戸数の減少及び販売率が低下したこと等により、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高620百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益122百万円（同3.8%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、昨年M&Aした子会社が売上利益ともに貢献し、比較的順調に推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高945百万円（同14.1%増）、営業利益59百万円（同49.0%増）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、物件の仕入れは比較的順調に推移いたしましたが、売却予定物件が後ズレしたため、非常に厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高78百万円（同87.2%減）、営業損失18百万円（前年同四半期は営業利益47百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは主に販売用不動産が442百万円増加したことなどによる一方、現金及び預金が539百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は183百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が48百万円、土地が25百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は2,087百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は207百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が31百万円増加したことなどによる一方、未払金が41百万円、その他が37百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主にその他が10百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は216百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に新株予約権が74百万円増加したことによる一方、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円であります。

この結果、自己資本比率は80.1%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高におきましては、総合不動産事業において、後ズレした販売予定物件の売却を今期中に行うことは厳しいと判断し、また、ハウスクエア事業において、中古マンション市場の開拓により、新築物件での販売を補える件数を獲得致しましたが、顧客単価が新築物件には及ばず、下記のように修正することといたしました。

また、利益予想におきましても、総合不動産事業及びハウスクエア事業での売上減の影響で、管理部門において、経費の削減を引き続き行いますが、下記のとおり修正することといたしました。

平成28年12月期通期連結業績予想の修正 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,128	131	144	115	11.58
今回修正値 (B)	2,862	104	113	90	9.04
増減額 (B - A)	△266	△27	△31	△25	—
増減率 (%)	△8.5	△20.6	△21.5	△21.7	—
(参考) 前期連結実績 (平成27年12月期)	2,703	46	130	39	3.96

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,241,470	702,026
受取手形及び売掛金	261,799	228,983
商品及び製品	344	331
販売用不動産	159,885	602,841
仕掛品	—	191
原材料及び貯蔵品	2,166	5,509
前渡金	242,351	2,000
短期貸付金	—	241,000
未収入金	36,567	53,803
その他	20,963	66,975
貸倒引当金	△68	△166
流動資産合計	1,965,479	1,903,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,754	143,231
減価償却累計額及び減損損失累計額	△78,112	△80,039
建物及び構築物(純額)	15,642	63,192
機械装置及び運搬具	4,917	4,574
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,199	△3,609
機械装置及び運搬具(純額)	1,717	964
工具、器具及び備品	11,412	11,678
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,627	△10,106
工具、器具及び備品(純額)	1,785	1,571
土地	3,248	28,296
リース資産	6,760	6,760
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,427	△5,033
リース資産(純額)	2,332	1,726
有形固定資産合計	24,725	95,752
無形固定資産		
のれん	1,793	—
その他	403	403
無形固定資産合計	2,197	403
投資その他の資産		
投資有価証券	30,508	2,629
出資金	181	181
破産更生債権等	621,464	624,017
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	85,259	84,693
貸倒引当金	△691,543	△694,075
投資損失引当金	△27,713	—
投資その他の資産合計	88,214	87,503
固定資産合計	115,137	183,659
資産合計	2,080,616	2,087,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,087	43,379
未払金	156,334	114,491
未払法人税等	10,241	10,913
預り金	19,934	10,004
賞与引当金	—	2,515
売上値引引当金	82	197
アフターコスト引当金	650	626
その他	62,311	24,931
流動負債合計	261,641	207,061
固定負債		
退職給付に係る負債	6,799	7,270
その他	12,381	2,096
固定負債合計	19,180	9,366
負債合計	280,821	216,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,782,061	1,782,061
資本剰余金	314,414	314,414
利益剰余金	△421,411	△424,544
自己株式	△290	△290
株主資本合計	1,674,774	1,671,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	48
その他の包括利益累計額合計	194	48
新株予約権	124,826	199,038
純資産合計	1,799,795	1,870,728
負債純資産合計	2,080,616	2,087,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,132,513	1,644,176
売上原価	1,379,183	990,171
売上総利益	753,329	654,004
販売費及び一般管理費	713,283	672,722
営業利益又は営業損失(△)	40,046	△18,717
営業外収益		
受取利息	11,468	1,625
受取配当金	25	26
貸倒引当金戻入額	78,215	—
長期預り金戻入益	—	9,687
その他	2,815	4,883
営業外収益合計	92,524	16,222
営業外費用		
支払利息	135	48
消費税控除対象外	5,452	3,897
その他	241	337
営業外費用合計	5,829	4,284
経常利益又は経常損失(△)	126,741	△6,779
特別利益		
固定資産売却益	—	224
投資損失引当金戻入額	—	27,713
その他	—	4,800
特別利益合計	—	32,738
特別損失		
貸倒引当金繰入額	70,057	—
投資有価証券評価損	—	16,269
特別損失合計	70,057	16,269
税金等調整前四半期純利益	56,683	9,689
法人税、住民税及び事業税	14,537	13,071
法人税等調整額	1,522	△248
法人税等合計	16,059	12,822
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,623	△3,133
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40,623	△3,133

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,623	△3,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△146
その他の包括利益合計	12	△146
四半期包括利益	40,635	△3,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,635	△3,279

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスクエア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	687,524	828,682	616,306	2,132,513	—	2,132,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	687,524	828,682	616,306	2,132,513	—	2,132,513
セグメント利益	118,456	39,996	47,095	205,548	△165,502	40,046

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,502千円には、のれん償却額△8,069千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△157,432千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスクエア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	620,070	945,200	78,904	1,644,176	—	1,644,176
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	620,070	945,200	78,904	1,644,176	—	1,644,176
セグメント利益又は損失(△)	122,968	59,584	△18,313	164,240	△182,958	△18,717

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△182,958千円には、のれん償却額△1,793千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△181,165千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。